

可能な開発目標）を踏まえ、幼稚園において多様な人々と関わる行事を、小学校においては外国語活動を、中学校においてはA・L・T（外国語指導助手）を有効活用した外国語の習得のみならず、異国の文化や習慣などを理解する学習活動に取り組んでおります。

特別支援教育の推進につきまして、本町では、幼稚園、小中学校が連携し、管内唯一の特別支援学校である小平高等養護学校の協力をいただきながら、小平町特別支援連携協議会における情報共有と適切な支援の協議を行い、保護者の理解を得ながらきめ細やかな指導と一貫した支援を行ってまいります。そのためにも必要に応じて特別支援員を幼稚園及び小中学校に配置し、園児・児童・生徒の生活や学習活動を支援いたします。

豊かな心と

健やかな体の育成

道徳教育の充実につきましては、教育基本法や学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とし、本町では道徳推進教員を中心に「考え議論する道徳」を展開し子どもたちに規範意識や他者を思いやる心を身に付けさせております。

す。

食育の推進につきまして、食育とは様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことであり、本町は幼稚園及び小中学校において給食としており、食育として確立されたカリキュラムを継続して園児・児童・生徒に丁寧に指導してまいります。

体力・運動能力の向上につきまして、小中学校で実施している全国体力・運動能力テストでは、瞬発力では全国平均を上回っておりますが、全身持久力や柔軟性では全国平均を下回っているため、全体的な体力向上が必要であり、体育の授業をはじめ、部活動、スポーツ少年団の活動等あらゆる場面での体力向上に努めてまいります。

いじめや非行の未然防止対策の推進につきまして、各学校では「いじめ防止基本方針」を制定しているとともに、児童生徒、保護者、教職員ともにいじめに対して正しく理解している現状でございます。日頃より子どもたちへの観察眼を高め、いじめを未然に防止するとともにいじめを積極的に認知し、発達支持的生徒指導を進め、教職員全員で子どもたちを見守り、学校・家庭・関係機関との連携を強化していじめや非行の防止に努めてまいります。

魅力ある

学校づくりの推進

学校施設や教職員住宅の維持・改修につきまして、近年の猛暑における対策として幼稚園、小中学校にエアコンの設置を拡大しており、同時に学校館繕につきまして計画的な改修・修繕を進めております。教職員住宅につきまして、適宜維持・改修に努め教職員が快適に暮らす環境を整えてまいります。

スクールバスの更新につきまして、現在、教育委員会所有の車輛により各方面別に運行しており、通学時以外にも学校行事や部活動、社会教育事業等子どもたちが使い勝手の良い活用がなされており、有効に運行しております。本年中にスクールバス1台を新たに購入し、引き続き子どもたちの安全安心な運行に努めてまいります。

働き方改革の推進につきまして、教職員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことが可能となります。本町では「学校における働き方改革小平町アクション・プラン」に基づき、学校閉庁日の設定や部活動休養日等の取組のほか、ICTを活用した教職員の校務の効率化を図っております。

学校給食の適切な提供につきまして、まず町民の皆様、議員の皆様におかれましては、民間事業者への委託の件で、大変ご心配及びご迷惑をおかけしましたことに深くお詫び申し上げます。現在も安全で安心な給食運営に努めておりますが、本町の今後の学校等給食の在り方につきましては、保護者をはじめ地域生産者の皆様及び関係の皆様丁寧に説明してまいります。これから地域の食料生産や食文化に対する理解を深めるため、地場産品を活用した給食の提供に努め、施設や配送等の衛生管理に十分に留意いたします。

地球規模の気候変動により頻発する自然災害などのリスクから子どもたちの学校内外での安全を確保するため、自らの安全は自ら守ることを基本に学校、家庭、地域や関係機関が連携し、交通安全や防犯、防災等の安全教育を進めてまいります。

学びのセーフティネットの構築につきまして、子どもの将来がその生まれ育った環境等によって左右されることなく、健やかに育成されるように、就学に係る経済的支援の推進や相談機能の充実、多様な学習機会の提供や子どもたちの居場所づくりなど、教育環境の向上のための取組の充実を図っております。子どもたちの心理的安全性を確保するとともにスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを活用し子どもたちの情報を共有してまいります。